

草の根・人間の安全保障無償資金協力  
「ンチェウ県ガンヤ地区安全な水供給計画」  
引渡式

2015年9月3日



中央写真:実際に井戸を使用する西岡大使(写真中央右)とヘインズ・アイルランド大使(写真中央左)。

左上写真:西岡大使と握手をするマガンガ農業灌漑水開発省次官(写真左)。

右上、右下、左下写真:式典の様子

2015年9月3日、西岡周一郎大使は、平成25年度草の根・人間の安全保障無償資金協力「ンチェウ県ガンヤ地区安全な水供給計画」で建設された13基の井戸の引渡しを行いました。式典はンチェウ県ガンヤ地区で開かれ、援助協調案件として本案件と一緒に実施したアイルランド政府からヘインズ・在マラウイ・アイルランド大使、マラウイ政府からマガンガ農業灌漑水開発相次官が臨席しました。

安全できれいな水は人々の健康と地域の繁栄に不可欠です。水へのアクセスが制限されると、教育、農業、保健、産業など全ての分野における社会経済的な発展が阻害されます。安全できれいな水へのアクセス拡大に向けて、マラウイ政府の多様な取り組みにもかかわらず、現在も安全な水にアクセスできない人々があります。ンチェウ県ガンヤ地区でも、多くの人々が未だに安全な水にアクセスできていない状況にあります。女性及び女子の多くは、近くの安全な水源まで約5km歩き、家族のために水を汲んでいます。近くの不衛生な小川から水を汲むこともあり、人々はコレラ

や慢性的な下痢など、不衛生な水を介した病気に感染することもあります。ガンヤ地区における水供給の現状を改善するために、日本政府は草の根・人間の安全保障無償資金協力を通じてコンサーン・ユニバーサルに対し 99,996 米ドルを供与し、13 基の井戸の建設を支援しました。これらの井戸を通して、ガンヤ地区の住民約 23,000 人に安全な水を供給することができます。

本プロジェクトは日本政府とアイルランド政府による初めての援助協調案件であり、2013 年 12 月に日本で開催された日・アイルランド首脳会談における共同声明でも言及されました。日本が 13 基の井戸の建設を支援する一方、アイルランド政府は Irish Aid の農村開発支援プログラムを通じて、コンサーン・ユニバーサルが実施した井戸管理及び公衆衛生に関する住民(約 140 名)へのトレーニング及び能力強化を支援しました。

式典で西岡大使は、本プロジェクトの実施で、女性及び女子が水汲みではなく教育や経済活動に時間を使うことができるとの期待を述べました。また、住民一人一人が井戸管理へのコミットメントを示し、井戸を適切に維持管理し長期に渡って利用してほしいと激励しました。